

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・2月予測） ～回復が続くもペースが鈍化

2022年2月3日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

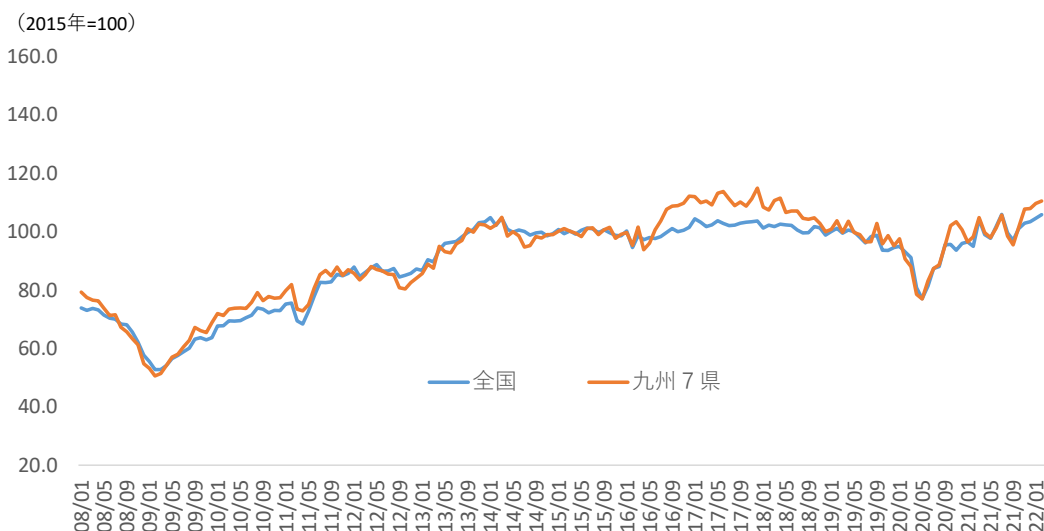
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2022年1月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2022年2月の予測 CI を解説する。

2022年2月の九州7県の予測 CI：5カ月連続プラスとなるが回復ペースが鈍化

2022年2月における九州7県の予測 CI は前月比+0.8%の110.6となり、5カ月連続でプラスとなった。都道府県 CI は、新型コロナウイルス感染者の減少等に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除により2021年10月にプラスに反転し、2月もその傾向を継続するとみられる。ただし、前回予測に比べて消費分野の先行系列の伸びが鈍化し、1月の予測値が下方修正された。2月も鈍化傾向にあり、伸び率は前月を下回った。一方、雇用分野の先行系列は回復を続けており、景気を下支えするとみられる。以上のことから、都道府県 CI は、コロナ感染再拡大の影響から上昇ペースが鈍化するものの、緩やかな回復を継続するとみられる。

全国は前月比+1.2%の105.9となり、九州と同様に回復が継続するとみられる。ただし、九州と同様に1月予測値は前回に比べ下方修正されており、2月もコロナ感染再拡大の影響を受ける可能性がある。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2021年11月までは実績値（都道府県 CI）、2021年12月～2022年2月は予測 CI

注2) 2022年2月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2022年2月の九州地域の予測CI：9県中6県で回復

2022年2月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県中6県でプラスとなった。特に鹿児島県（前月比+5.1%）、沖縄県（同+3.7%）、宮崎県（同+1.6%）でプラス幅が大きい。これらの県は雇用分野の先行系列の上昇幅が相対的に大きい。一方で、佐賀県（同▲2.0%）、山口県（同▲1.7%）は雇用分野・消費分野の先行系列がマイナス、長崎県（同▲0.9%）は消費分野がマイナスとなった。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	2021年 9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月
全国	97.1	101.1	103.0	103.4	104.6	105.9	▲2.5	4.1	1.9	0.4	1.1	1.2
九州7県	95.5	101.6	107.8	108.0	109.7	110.6	▲3.0	6.4	6.1	0.2	1.6	0.8
山口県	73.4	80.0	91.7	89.9	91.7	90.2	▲5.5	9.0	14.6	▲2.0	2.1	▲1.7
福岡県	83.2	98.0	104.7	105.5	109.3	110.0	▲1.7	17.8	6.8	0.7	3.6	0.7
佐賀県	69.9	82.0	87.6	89.6	94.3	92.5	▲9.3	17.3	6.8	2.3	5.2	▲2.0
長崎県	85.3	85.8	90.3	90.0	89.7	88.8	5.2	0.6	5.2	▲0.3	▲0.4	▲0.9
熊本県	117.0	122.1	128.8	132.3	137.9	138.0	2.3	4.4	5.5	2.7	4.2	0.0
大分県	88.6	88.0	101.0	100.3	102.3	103.3	3.0	▲0.7	14.8	▲0.7	1.9	1.0
宮崎県	94.2	100.2	110.0	105.9	106.1	107.7	▲0.9	6.4	9.8	▲3.7	0.2	1.6
鹿児島県	98.9	103.3	105.9	107.1	108.9	114.5	▲1.2	4.4	2.5	1.1	1.7	5.1
沖縄県	68.0	76.1	79.6	79.3	79.3	82.2	2.1	11.9	4.6	▲0.4	▲0.0	3.7

注1) 2021年11月までは実績値（都道府県CI）、2021年12月～2022年2月は予測CI

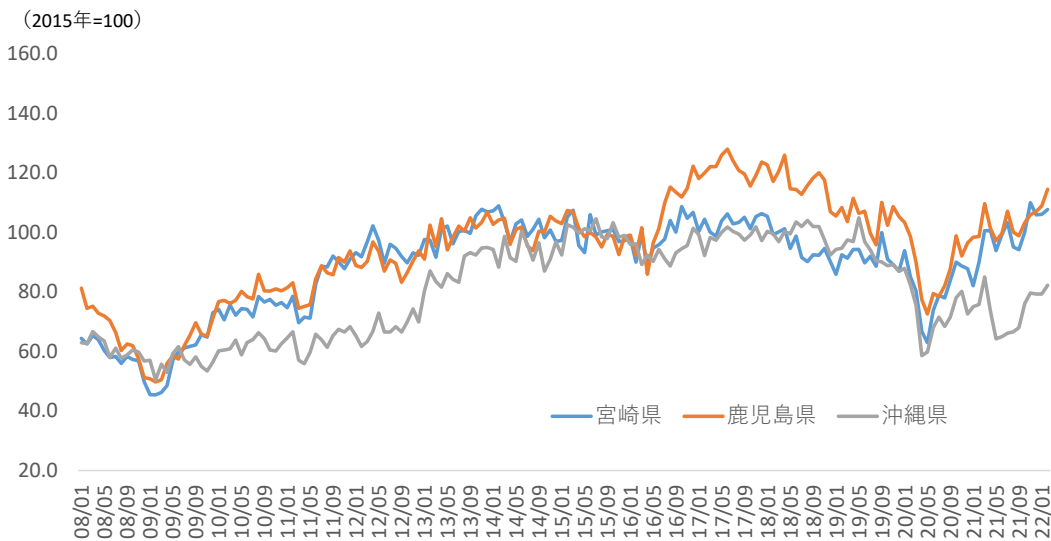
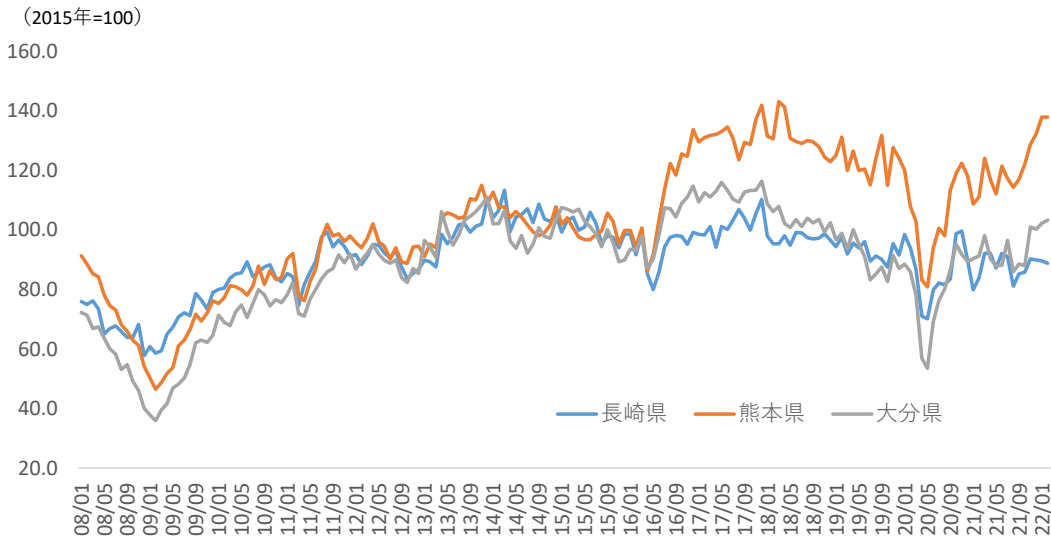
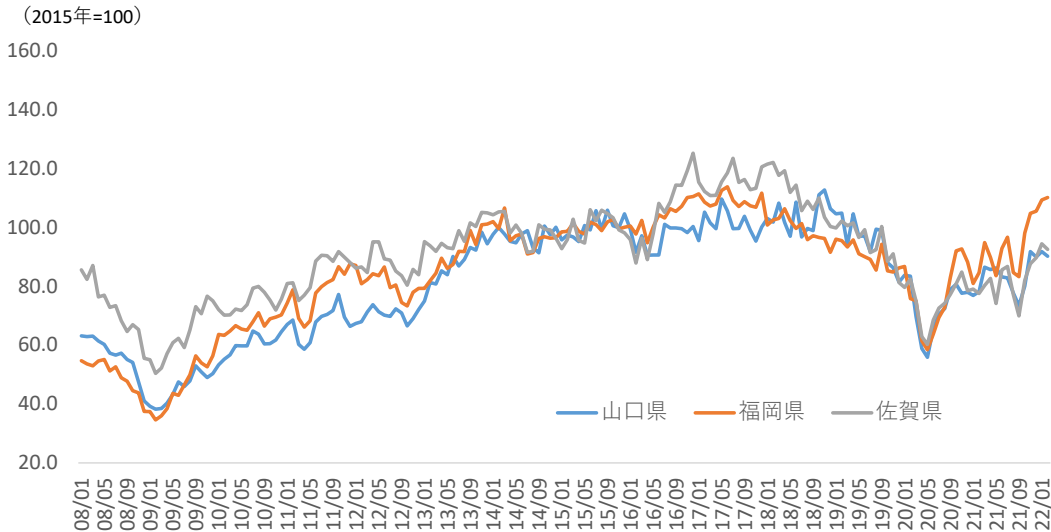
注2) 2022年2月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年11月までは実績値(都道府県CI)、2021年12月～2022年2月は予測CI

注2) 2022年2月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

-
- i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「CI 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

- ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号